

令和2年度病虫害発生予察情報 予報第13号（2月）

令和3年2月9日
発表：福島県病虫害防除所

野菜・花き

| 作物名 | 病虫害名 | 地方 | 発生時期 | 発生量 | 予報の根拠 | 防除上注意すべき事項 |
|-----|--------|----|------|-------|--|--|
| イチゴ | うどんこ病 | 全域 | — | やや少ない | 発生ほ場割合は、平年よりやや低かった（－）。 | 多発すると防除が困難になるので、発生初期から薬剤防除を徹底する。 |
| | 灰色かび病 | 全域 | — | 平年並 | 発生ほ場割合は、平年並であった（±）。 | ①過湿にならないよう換気を行う。 ②発病果や罹病した果梗、老化葉などはハウス内に放置しない。 |
| | アブラムシ類 | 全域 | — | やや多い | ①発生ほ場割合は、平年並であった（±）。 ②天候予報（2月4日発表1か月予報）によると気温が高くなると予想されている（＋）。 | 低密度時から薬剤防除を実施する。 |
| | ハダニ類 | 全域 | — | やや多い | ①発生ほ場割合は、平年並であった（±）。 ②天候予報によると気温が高くなると予想されている（＋）。 | ①低密度時から薬剤防除を実施する。 ②抵抗性の発達が懸念されるので、殺ダニ剤の選択には注意する。 ③カブリダニ等天敵資材を放飼している場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。 |
| | コナジラミ類 | 全域 | — | 平年並 | 発生ほ場割合は、平年並であった（±）。 | 排泄物に発生するすす病は果面の汚れによる品質低下を招くので、発生密度に注意し、薬剤防除を実施する。 |
| | アザミウマ類 | 全域 | — | やや多い | ①発生ほ場割合は、平年並であった（±）。 ②天候予報によると気温が高くなると予想され、施設の開放によりほ場外からの飛び込みが懸念される（＋）。 | 発生が多くなると果実被害が生じるので、低密度時から防除を実施する。 |

注）予報の根拠の中で（＋）は多発要因、（－）は少発要因、（±）は平年並要因であることを示す。

より詳しい発生状況や防除対策は、福島県病虫害防除所ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/> を御覧ください。

お問い合わせは TEL:024-958-1709、FAX:024-958-1727 または e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp へお願いします